

# 学力向上アクションプラン

重点取組分野		具体的取組
確かな学力		①学習問題の明確化を図り、子どもたちが自ら問題を追究・解決できるよう授業改善に取り組む。 ②子どもにとって身近な学習を大切に、どの子どもにとっても楽しく分かりやすい学習を実践する。 ③より多面的かつ個に応じた支援を展開するために教科担当制や算数科少人数指導等を行う。
担当	研修・研究部	④読書の推進、ICT機器、学校図書館の活用により、学習意欲・読解力・情報活用能力の向上と育成を図る。

学力向上に関わる本校の状況	目標を実現するための具体的行動プラン
<p>学力は、どの学年においても横浜市の平均を上回り、家庭・地域・学校での教育活動の成果が安定して表れていると言える。また、生活意識や学習意識では、市の平均を上回っている学年もあれば、下回っている学年もある。学年によって意識に偏りがあることが分かる。</p> <p>これらのデータから、令和5年度も身に付けている基礎基本を生かし、「生活」や「社会」と関連付けてより深く取り組んだり、考えたりするなどの「問題解決能力」や「コミュニケーション能力」を育てていく必要があると考える。そこで、授業の中で「言語活動」「問題解決型学習」「体験的な活動」などのさらなる充実を継続していくとともに、一人ひとりの今の学力を正しく把握し、どの子どもも意欲や興味・関心をもつことができるような授業の工夫やユニバーサルデザインを意識していきたい。</p> <p>また、ICT機器を活用して学習をすることにより、子どもの学習意欲を高め、理解や思考の深まりの一助とすることができている。今年度も各教科領域の中で、継続してICT機器の活用を取り組んでいく。</p> <p>令和4年度 学力</p>	<p>低学年【言語・伝え合う能力の育成】丁寧な言葉遣いで話す力を付けるようにする。大事なことを落とさずに聞く力を付けるようにする。【問題発見・解決能力、思考力の育成】物事に好奇心をもてるようにする。自分の願いをもち、伝えることができるようにする。簡単な振り返りができるようにする。</p> <p>上半期</p> <p>中学年【言語・伝え合う能力の育成】主体的・積極的に人とかかわろうとする姿勢を身に付けるようにする。他社の考えや思いに対する受容性をもてるようにする。【問題発見・解決能力、思考力の育成】問題を発見して伝え合うことができるようにする。解決策を実行できるようにする。振り返りができるようにする。</p> <p>高学年【言語・伝え合う能力の育成】一人一人の感じ方、考え方の違いに気付けるようにする。互いの立場や意図を明確にして計画的に話し合えるようにする。他者と考えや思いを共有するコミュニケーション能力を育てるようにする。【問題発見・解決能力、思考力の育成】試行錯誤して問題や課題に取り組めるようにする。協働的に解決策を見だし実行しできる力を育てるようにする。振り返りから学習内容を深めるようにする。</p> <p>下半期</p> <p>低学年【言語・伝え合う能力の育成】丁寧な言葉遣いで話す力を付けるようにする。大事なことを落とさずに聞く力を付けるようにする。【問題発見・解決能力、思考力の育成】物事に好奇心をもてるようにする。自分の願いをもち、伝えることができるようにする。簡単な振り返りを習慣付けるようにする。</p> <p>中学年【言語・伝え合う能力の育成】主体的・積極的に人とかかわろうとする姿勢を身に付けるようにする。他者の考えや思いに対する受容性をもてるようにする。【問題発見・解決能力、思考力の育成】問題を発見して伝え合うことができるようにする。解決策を実行し思いを実現できるようにする。振り返りを習慣付けるようにする。</p> <p>高学年【言語・伝え合う能力の育成】一人一人の感じ方、考え方の違いに気付き認め合えるようにする。互いの立場や意図を明確にして計画的に話し合えるようにする。他者と考えや思いを共有してより自分の考えを高めることができるように、コミュニケーション能力を育てるようにする。【問題発見・解決能力、思考力の育成】試行錯誤して問題や課題に取り組めるようにする。協働的に解決策を見だし実行し、他者に発信できる力を育てるようにする。</p>

## 今年度の目標

各教科領域の中で、「話し合い活動」を充実させ、他者に対する受容性や相手意識を育て、「伝え合う力」を高めていくとともに、算数科の中で、振り返りを中心とした学習の中で、「思考力」を高めていく。また、ICT機器を活用し、個に応じたきめ細やかな指導を行い、子ども一人一人に基礎的・基本的な学力を確実に定着させる。